

諸君に訴ふ

一 國家社會の隆盛は國民精神の一致離れざる
團結の力に俟たず北はならず北は同しく
勞働者力福利増進は道理ある勞働者の團
体的行動の力に基かなければ何者をも求
め得らるへまのてはなこの位の事は少
児と雖も即ち辨へて居る筈である然るに
古の中には已まへ良ければ他は一切顧る
必要はないといふ厚顔無恥の徒輩のあ
るとは何といふ淺薄しい卑劣なことであら
う

二 犠牲的精神 我利主義の蔓延は遂に國家

を亡し聽て自己を亡ぼすこと、なる實に
恐るへきは我利主義である我利主義は情
に薄く徳義を致く何事をするにも多少の
犠牲は必ず伴ふべき古力中に濡糸の葉
の樹を取はなす苦である實に我利主義は